

いたわり

2011年7月号 No.126

くおりのキュート(救)健康新聞

くおりのキュートの健康教室

第20回 「緑の輝きクロレア工場見学ツアー」
 <日時> 7月29日(金) 午前10時~午後3時
 クロレア工業九井工場(筑後市)見学→自然食バキング「ティア」

第240回 「くおりのキュート玉名店 健康教室」
 <日時> 7月28日(木) 午後2時~3時
 <場所> くおりのキュート玉名店 2階 健康教室

自然界に存在する毒素と自然界に存在しない合成化学物質

胎児性水俣病の子どもたち (1961年, 原田)



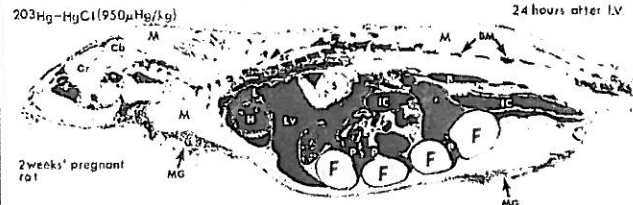
水俣病が正式に発見されたのは、1956(昭和31年)のことでした。福井県福井市の医師グループが「水俣市の漁村地帯に原因不明の中樞性神経疾患が多発している」と、水俣保健所に届けたのです。同時にこの患者多発地区に、多数の「脳性マヒ」といわれる小児患者が発見されました。そして3年後の1959年に「水俣病の原因は有機水銀中毒である」と熊大医学部石研究班が厚生省に報告します。しかし、この脳性マヒといわれた子産については、それから3年もの間、水俣病との関係が否定され、難病、奇病と病院を回らされてきました。それは母親がこの子産を妊娠している時に水銀入りの魚を食べたのが、母親産の症状が生まれた子産に比べて非常に軽かったということが一つ。それともう一つは当時の医学通説では「胎盤は毒物を通さない」と言われていたのです。私達、人間をはじめ、哺乳類には「血液胎盤関門」というバリアがあって、自然界にもともと存在する毒素(毒キノコ、トリカブト、フグの毒など)は胎盤を通過せず、胎児を守っています。そのおかげで私達、人類は生き延びる事ができ命をつないできたのです。また人類の数百万年の進化の歴史は、どのような機能を獲得してきた歴史でもあつたはず。言いかえれば、どのような機能を獲得

してきた生物だけが「現代まで」生き延びてきたと云えるのです。しかし、生物の長い進化の歴史でかつて遭遇したことがない物質、つまり、化学物質のように自然界に全く存在しない物質や存在しても極く微量の物質(放射能やメチル水銀など)に対しては私達の遺伝子はどれほどやぶやぶで父理しているのか情報をもっていないのです。ですからこれらの物質に対しては無防備に、「血液胎盤関門」を通過させてしまうのです。

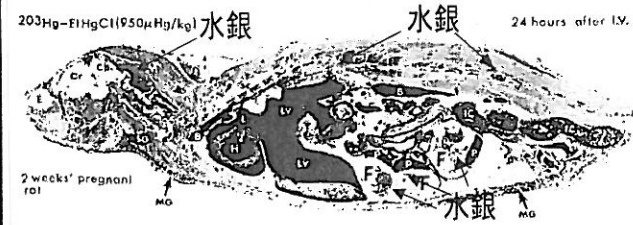
【血液胎盤関門】

自然界にもともと存在する毒素は、『血液胎盤関門』で胎盤を通過させず胎児を守っているが、自然界にまったく存在しない物質や、あっても稀な物質の場合は、胎盤を通過してしまう。

胎児性水俣病の動物実験 (白木博次東大教授)



無機水銀投与。胎児(F)に水銀は入っていない。



有機水銀投与。体全体とともに胎児(F)にも水銀が入っている。

ネズミに自然界に存在する「無機水銀」を注射すると、胃・心臓・腸・骨髄などに取り込まれるが、胎児(F)や脳にはあまり取り込まれていない。

ネズミに自然界には存在しない「有機水銀」を注射すると、胎盤を通過して確実に胎児(F)の体内に取り込まれ、特に胎児の脳に広く取り込まれている。

上記の東大、白木教授のネズミへの実験によって自然界に存在しない物質は胎盤を通過して胎児に取り込まれることが明確になり、「胎児性水俣病」や後の「カネミ油症」枯葉剤におバトちゃん、ドクちゃんなど子宮の環境の重要性がやと表に出てきた。これらの事件は遠い昔の事と今の私達には関係ない事でしょうか？ 実は今の私達の方が「自然界に存在しない物質」に囲まれており、そして無意識に体内に取り入れているのです。

<自然界に存在しない物質>

- 有機化合物(メチル水銀・PCB・ダイオキシン)・石油化学製品(医薬品・合成洗剤)・化学農薬・化学肥料・化学合成食品添加物・畜産食品を通して入る化学物質・建材関連の揮発性化学物質など

医薬品・洗剤・農薬・肥料・添加物に囲まれた私達、赤ちゃんを産む方は赤ちゃん、産まない方は全日本人蓄積され、おま、これらをしっかり解毒して、赤ちゃんと本人を守るには「バイオリック」しかないのです!! 昭和39年から解毒の歴史を持つバイオリックは、現在でもカネミ油症のPCB・ダイオキシン中毒の患者さんに使われ症状を劇的に改善して、じから感謝されているのです。

バイオリックの解毒作用

- PCB(ダイオキシン・PCB)
- 重金属(カドニウム・銅・水銀)
- 毒物(ヒ素)
- 排気ガス中の毒物
- 農薬
- 食品添加物(色素・香料・保存料・殺菌剤など)
- 抗生物質(医薬品・養殖や飼育の生物内残留)
- 発ガン性物質
- 合成洗剤
- 肝障害誘発物質(粟害)



※「バイオリック」は家族全員に必要な「食材」です! 特に未来を担う子達には!